



鳥羽市に「ポケふた」設置！市立図書館でもポケモン図書コーナーを開設中！

3月11日、ポケモンのマンホール『ポケふた』が、佐田浜東公園に設置されました。これは、県の活性化を目的とした三重県と株式会社ポケモンの包括連携協定による取り組みの一環で、3月10日に三重県庁で開催された「ポケふたお披露目式」では、鳥羽市をはじめ県内7市のポケふたが寄贈されました。

また、市の独自事業として、「三重県×ミジュマル展」やポケモン関連図書を集めた「ポケモン図書コーナー（4月1日以降も常設）」を市立図書館に開設しました。



心肺蘇生法トレーニング人形などを寄贈いただきました！

3月2日、匿名の市民のかたより「家族が生前に鳥羽市消防本部の救急隊に複数回搬送され、救急隊に大変お世話になった」とのことから、消防本部へ心肺蘇生法トレーニング人形10体、空気除菌消臭装置などを寄贈していただきました。

家田消防長は「心肺蘇生法トレーニング人形は、市民の救命知識向上に役立っています。また、空気除菌消臭装置は、感染予防に大いに役立てることができ大変感謝しています」と言葉を添えて、感謝状の贈呈を行いました。



3月16日、長野県上高井郡小布施町の地域おこし協力隊である古木里菜さんが、鳥羽市リサイクルパークで研修活動を開始することから、報告とあいさつのために市長室を訪問しました。

古木さんは小布施町でごみ削減のための活動をしており、1か月間鳥羽に滞在し、生ごみの循環や堆肥の管理方法、課題などを現場目線で学ぶ予定です。

古木さんは「昨年の視察で、鳥羽のリサイクルパークがごみ処理のしくみだけでなく、地域のかたの交流の場になっていることに感動した。そういった場づくりについても学びたい」と熱意を話してくれました。

小布施町の地域おこし協力隊が鳥羽で活動します！



3月11日、鳥羽市母子父子寡婦福祉会から市内の小学新一年生109人に、祝い品の文房具セットが贈られました。同団体はこれまで新一年生のお祝い会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止が続く中で、今回初めての寄贈にいたしました。

当日、かもめ幼稚園では同団体の中世古会長から年長児14人に文房具が寄贈され、園児たちはお礼に「ありがとうの花」の歌を合唱して感謝を伝えました。

母子父子寡婦福祉会から新一年生に文房具寄贈